



一般社団法人中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所

令和4年度 活動報告(令和4年5月～令和5年3月)

No.	実施年月日	場所・行事、内容	
1	令和4年5月12～14日	名古屋未来環境EXPO2022	出展
2	令和4年5月14日	岐阜市立岩野田小学校	防災講座
3	令和4年5月22日	令和4年度 天竜川上流総合水防演習	参加・協力
4	令和4年5月24日	大垣市役所	VR体験会
5	令和4年6月4日	岐阜市立徹明さくら小学校	防災講座
6	令和4年6月5日	大垣市多良地区土砂災害防災訓練	参加・協力
7	令和4年6月7日	関市立関商工高校	防災講座
8	令和4年6月8日	山県市立高富中学校	防災講座
9	令和4年6月10日	安八町立登龍中学校	防災講座
10	令和4年6月10日	大垣市立東中学校	防災講座
11	令和4年6月11日	郡上市立相生小学校	防災講座
12	令和4年6月12日	三六災害60年シンポジウム	参加・協力
13	令和4年6月15～16日・22～23日	愛知県立一宮工科高校	防災講座
14	令和4年6月26日	大垣市時山地区防災訓練	参加・協力
15	令和4年6月29日	郡上市立吉田小学校	防災講座
16	令和4年6月30日	岐阜市立合渡小学校	防災講座
17	令和4年7月5日	岐阜県立揖斐高校	防災講座
18	令和4年7月7日	名古屋市立守山西中学校	防災講座
19	令和4年7月8日	大野町立中小学校	防災講座
20	令和4年7月14日	岐阜県立岐阜高校	防災講座
21	令和4年7月16日	国土交通Dayイベントを中部地方整備局と共同開催	開催
22	令和4年7月31日	大垣市外国人防災啓発講座	防災講座
23	令和4年8月6日	豊橋市外国人防災リーダー養成講座	VR体験会
24	令和4年8月20～21日	岐阜県防災教育フェア	防災講座
25	令和4年8月22日	浜松河川国道事務所防災体験会	VR体験会
26	令和4年8月24日	羽島市立桑原学園	防災講座
27	令和4年8月31日	岐阜県立岐阜聾学校	防災講座
28	令和4年9月2日	愛知県立豊橋工科高校	防災講座
29	令和4年9月4日	木曽岬町防災フェア2022	参加・協力
30	令和4年9月6日	岐阜本巣特別支援学校	防災講座



一般社団法人中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所

令和4年度 活動報告(令和4年5月～令和5年3月)

No.	実施年月日	場所・行事、内容	
31	令和4年9月8日	神戸町立下宮小学校	防災講座
32	令和4年9月11日	大垣市三城地区防災訓練	参加・協力
33	令和4年9月18日	おばら防災DAY	参加・協力
34	令和4年9月25日	大垣市令和4年度地区別防災訓練	参加・協力
35	令和4年10月1日	岐阜市立梅林中学校	防災講座
36	令和4年10月4日・5日	建設技術フェア2022in中部	出展
37	令和4年10月15日・16日	第46回春日井まつり	出展
38	令和4年10月18日	防災啓発冊子・点字版(岐阜県立岐阜盲学校)	寄贈
39	令和4年10月19日	岐阜県立可児工業高校	防災講座
40	令和4年10月29日	豊橋工科高校文化祭	VR体験会
41	令和4年10月29日	ふじおか防災キャンプ	参加・協力
42	令和4年10月30日	岐阜市市橋地区	防災講座
43	令和4年11月2日	郡上市立八幡小学校	防災講座
44	令和4年11月4日・5日	第30回全国川サミットin岡崎	参加
45	令和4年11月6日	おおがき防災フェス2022	参加
46	令和4年11月9日	火災予防運動キャンペーンinイオンモール大垣	参加
47	令和4年11月9日	岐阜県立岐阜総合学園高校	防災講座
48	令和4年11月10日	岐阜県立可児工業高校文化祭	VR体験会
49	令和4年11月20日	瑞穂区民まつり2022	出展
50	令和4年11月25日	土岐市立土岐津小学校	VR体験会
51	令和4年11月29日・30日	防止啓発冊子・点字版(愛知県立岡崎盲学校・愛知県立名古屋盲学校)	寄贈
52	令和4年12月15日	岐阜県立高山工業高校	防災講座
53	令和4年12月22日	本巣市立根尾学園	防災講座
54	令和5年1月28日	愛知県立豊田西高校・豊田東高校	防災講座
55	令和5年1月31日	名古屋市南生涯学習センター	防災講座
56	令和5年2月2日	愛知県立津島北高校	防災講座
57	令和5年2月10日	愛知県立名古屋豊学校	防災講座
58	令和5年3月14日	山間部でDX推進!	参加・協力
59	令和5年3月13日	海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設BCP研修会	参加・協力
60	令和5年3月22日	中津川市立阿木中学校	防災講座



名古屋未来環境EXPO2022でSDGsの取り組みを紹介

「サステナブルライフスタイルで感動を！」をテーマに5月12日～14日にポートメッセ名古屋で開催された名古屋未来環境EXPO2022に、地域づくり技術研究所の取り組み「逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする防災啓発」を出展しました。誰ひとり取り残さない、大切な命を守るためのSDGsの目標は11番, 13番, 17番です。研究所はSDGsの達成に貢献します。

名古屋未来環境EXPO 2022
 名古屋から発信するサステナブルライフスタイル

リアル開催 2022年 **5/12(木)～14(土)** 10:00～17:00 会場 **名古屋市国際展示場 (ポートメッセ) 第2展示館**

オンライン開催 2022年 **3/15(火)～6/30(木)** 主催/環境新聞社 共催/名古屋市



岐阜市立岩野田小学校で防災講座を行いました。

令和4年5月14日（土）、岩野田小学校の5年生41人に、「災害から大切な人の命を守るために～過去の災害に学び、備えよう～」と題して、岩野田地域で起こった災害を中心に、被害の概要と災害への備えを実験を交えながら学ぶ防災講座を行いました。それをもとに、今、地域のために自分で何が出来るのかを考え、地域に暮らすお年寄りなどに防災啓発メッセージを作成しました。児童たちは、熱心に講義を聞き興味深く液状化実験の体験をするとともに、真剣にメッセージ作成に取り組んでいました。

今回の防災講座が、地域のために役立つ意識の芽生えに繋がることを期待しています。

この防災講座の様子は、岐阜新聞に掲載頂きました。



令和4年度天竜川上流総合水防演習に参加しました

令和4年5月22日（日）に長野県飯田市川路地先（天竜川右岸 天竜川総合学習館上流）で総合水防演習が開催され、中部地域づくり協会は訓練に協賛し、展示ブースによる防災啓発、防災エキスパートによる被災状況の情報収集訓練を行いました。

また、参加者全員に防災啓発冊子「自然に学び自然に備える」を配布しました。



展 示
ブ ース



防 災 エ キ ス パ ー ト



大垣市長をはじめ、大垣市職員の皆様にVRで浸水を疑似体験して頂きました

令和4年5月24日、大垣市役所で「浸水体感VR体験会」を開催しました。石田市長、菊池副市長をはじめ、大垣市の職員約20名の皆様にVRで浸水を疑似体験して頂きました。石田市長からは「臨場感を感じられた。今後、訓練などで地域の方々が体験すれば早期避難に繋がるのでは無いか」との感想を頂きました。コロナ禍で皆様に体験頂ける機会が減少していましたが、6月には大垣市の防災訓練で地域の方に体験して頂く予定です。

「大雨から大切な命を守る」ため、感染症対策を施しながら、徐々に体験会を再開して行きたいと考えています。



岐阜市立徹明さくら小学校で防災講座を行いました

令和4年6月4日（土）、徹明さくら小学校の3～6年生約200名に、「災害から大切な人の命を守るために」と題し、浸水疑似体験映像による避難行動シミュレーションで、避難が遅れたときに遭遇する被災を疑似体験しました。ハザードマップ確認の重要性や歩行が困難になる水深・ドアが開かなくなる水深など、実際の避難に役立つ内容を学びました。講座はコロナ感染症に配慮し、放送室から各教室にライブ配信し、先生が放送室でVR体験する様子も配信されました。教室を覗いてみましたが、皆さん、興味深く真剣に話を聞いていました。

今回の講座が、児童の防災意識向上に繋がることを期待しています。



大垣市多良地区土砂災害防災訓練に参加しました

令和4年6月5日（日）、多良地区防災訓練に参加し、「VRによる浸水疑似体験」や研究所の「逃げ遅れゼロに向けた住民避難を後押しする取り組み」を紹介しました。

VRを体験した方からは、「リアルで凄かった」「防災啓発に役立ちそう」などの感想を頂き、地域防災力向上の一助に繋がりました。

今後も、コロナ感染症に留意しながら、大雨から大切な命を守るため、住民避難を後押しする取り組みにより自治体を支援して参ります。



関市立関商工高校で防災講座を行いました

令和4年6月7日（火）、関市立関商工高校の2年生17人、3年生18人に体験型の防災講座を行いました。この防災講座は、令和2年より実施しています。

2年生は浸水疑似体験VRやデジタル展示館により過去の水害やその教訓、水害への備えを学び、3年生は過去に発生した地震の特徴や、液状化実験により液状化のメカニズムなどを学びました。

講座の最後には、近い将来、社会に羽ばたく皆さんに、「災害から大切な人の命を守るため、守られる人から守る人になって下さい。」と伝えて講座を締めくくりました。

この防災講座の様子は、中日新聞に掲載頂きました。



山県市立高富中学校で防災講座を行いました

令和4年6月8日（水）、山県市立高富中学校3年生約110人に防災講座を行いました。

高富地域で発生した9.12豪雨災害を中心に過去の災害の概要を学び、浸水疑似体験映像の視聴（代表者6人は浸水体感VRを体験）で早期避難の重要性や、「大雨にソナエルピクト」を活用したクイズで災害への備えを学びました。VRを体験した生徒は、「今まで他人事だと思っていたが、早めに避難したいと思った」と話しました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

この防災講座の様子は、朝日新聞に掲載頂きました。



安八町立登龍中学校で防災講座を行いました

令和4年6月10日（金）、安八町立登龍中学校の全校生徒約280人に防災講座を行いました。講座は、放送室からのライブ配信（1クラスはTEAMS）で行いました。

登龍中学校は、昭和51年に発生した9.12豪雨災害の長良川堤防決壊箇所付近で大きな被害を受けていたことから、9.12豪雨災害を中心に過去の災害について学習しました。その後、浸水疑似体験映像の視聴を行い、生徒からは「怖い」という声がたくさん上がっていました。また、TEAMSで繋いだクラスには、質問にO×カードで答えて頂き、生徒の水害への意識を確認する事が出来ました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



大垣市立東中学校で防災講座を行いました

令和4年6月10日（金）、大垣市立東中学校2年生約280人に防災講座を行いました。

大垣市で浸水被害のあった9.12豪雨災害を中心に過去の災害の概要を学び、浸水疑似体験映像の視聴（代表者48人は浸水体感VRを体験）を行いました。VRを体験した生徒からは、「怖かった」「早く避難しようと思った」といった声が聞かれました。講座と同時に、生徒が目隠しや荷物を持ちながらプールの中を歩く浸水時歩行の疑似体験も行われており、浸水体感VRとの組合せで水害時の避難について学びました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

この防災講座の様子は、中日新聞・岐阜新聞に掲載頂きました。



郡上市立相生小学校で防災講座を行いました

令和4年6月11日（土）、相生小学校の6年生20名と保護者の皆様に、「災害から大切な人の命を守るために」と題し、浸水疑似体験映像による避難行動シミュレーションで、避難が遅れたときに遭遇する被災を疑似体験して頂きました。この地域が被災した平成16年10月台風など過去の災害やハザードマップ確認の重要性など、実際の避難に役立つ内容を学びました。講座当日は、ふれあい親子参観にあたり、保護者の皆様にも〇×クイズに参加頂きました。また、児童からは「家族で話し合いたい」「早く避難したい」「事前に準備したい」などの感想がありました。

今回の講座が、児童の防災意識向上や家族での話し合いに繋がることを期待しています。



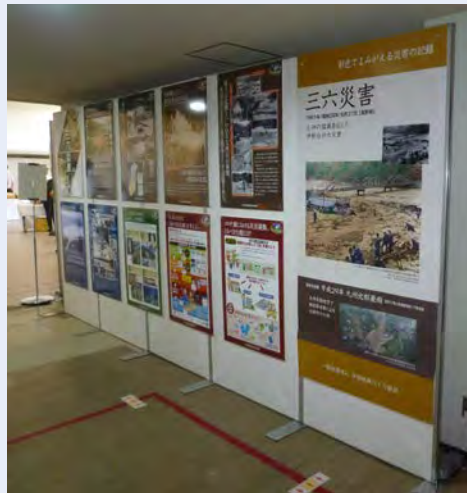
「三六災害60年シンポジウム」に協力しました

令和4年6月12日（日）、飯田文化会館で開催の「三六災害60年シンポジウム（主催：三六災害60年実行委員会）」に協力しました。

ロビーにおいて、三六災害の被害写真を白黒からカラー加工したパネルの展示や「大雨にソナエルピクト」のマグネットシートを配付しました。

開会前には、当協会の映像「三六災害から50年 よみがえった伊那谷～そして今」が上映され、また、当協会がカラー加工した三六災害の被害写真は、チラシや当日配布資料のパンフレットに掲載されました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関を連携した取組を進めてまいります。



愛知県立一宮工科高校で防災講座を行いました

令和4年6月15日（水）・16日（木）、愛知県立一宮工科高校で2年生13人に防災講座を行い、水害と地震の両面を学んで頂きました。22日（水）・23日（木）にも防災講座を予定しています。この防災講座は、今年で3年目となります。

水害の講座では、デジタル展示館を活用しながら過去に発生した風水害について学び、浸水体感VRで浸水疑似体験をして頂きました。地震の講座では、過去に発生した地震について学んだ後、液状化実験装置やペットボトルを用いて、液状化の仕組みについて学ぶ液状化実験を行いました。また、ハザードマップで学校や自宅の浸水深や液状化の危険度などを確認しました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



大垣市時山地区防災訓練に参加しました

令和4年6月26日（日）、大垣市上石津町で行われた令和4年度時山地区防災訓練に参加しました。6月は土砂災害防止月間で、この時山地区は平成24年9月の台風16号により土砂災害が発生した地域です。

訓練では、「浸水体験VRの体験」や研究所の「逃げ遅れゼロに向けた住民避難を後押しする取り組み」を紹介し、VRを体験した方からは、「リアルだった」「怖い」などの感想を頂き、地域防災力向上の一助に繋がりました。

今後も、コロナ感染症に留意しながら、大雨から大切な命を守るため、住民避難を後押しする取り組みにより自治体を支援して参ります。



郡上市立吉田小学校で防災講座を行いました

令和4年6月29日（水）、郡上市立吉田小学校6年生14人に防災講座を行いました。

この小学校も床上浸水をした平成16年台風23号など、過去の水害について学習し、その後、浸水疑似体験映像・避難動画「あつ森で大切な人の命を守る」を視聴しました。また、「大雨にソナエルピクト」を活用した〇×クイズで、大雨への備えについても学習しました。

とても熱心に聴講して頂き、「家に帰って家族と避難について話し合いたい」「備蓄品を用意したい」などの感想があり、防災意識の向上が確認できました。

講座の最後には、「今は先生や地域に守られています、将来、守られる人から守る人になってください。」と伝えて講座を締め括りました。

この講座の様子は、郡上ケーブルテレビで地域に配信される予定です。

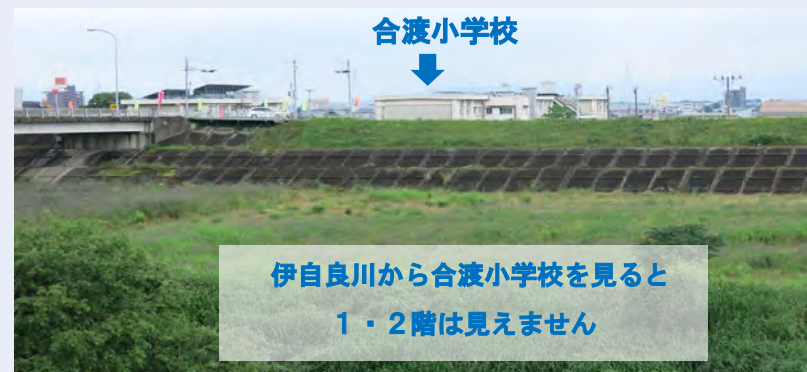


岐阜市立合渡小学校で防災講座を行いました

令和4年6月30日（木）、岐阜市立合渡小学校6年生約50人に防災講座を行い、水害と地震について学んで頂きました。

合渡小学校は、長良川と伊自良川の合流点付近にあり、この地域は昭和51年の9.12豪雨で浸水被害を受けています。校内には当時の被災写真が掲示されており、防災意識の高さが感じられました。水害の講座では、浸水疑似体験映像などの視聴、9.12豪雨をはじめとする過去の水害や避難行動、事前の備えについて防災クイズも交え学習しました。地震の講座では、過去の地震や液状化の仕組みを実験も取り入れながら学び、また、高潮実験などペットボトルを用いた様々な実験も行いました。

今回の防災講座が児童の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



岐阜県立揖斐高校で防災講座を行いました

令和4年7月5日（火）、岐阜県立揖斐高等学校で3年生保育コース10名に防災講座を行いました。高校の近くには揖斐川が流れ、この揖斐川流域では平成14年7月台風6号、平成20年9月西濃豪雨など、度重なる被害を受けています。

講座では、まず自分の命を守れるよう、過去の災害やハザードマップを確認するなど事前の備えや早期避難の重要性を学ぶとともに、将来に向けて子供の避難についても、具体的な事例を交えて勉強して頂きました。

生徒さんからは、「今まで家族と話し合ったことがないので、今日帰ったら話し合いたい。」「ハザードマップを確認したので、今後の生活に役立てたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、各自の防災意識向上に繋がり、将来、子供たちを守ることに役立って頂ければ幸いです。



川の日に名古屋市立守山西中学校で防災講座

川の日である7月7日(木)、名古屋市立守山西中学校で1年生約280名に防災講座を行いました。この中学校での防災講座は、昨年引き続き2回目となります。

この地域は、矢田川と庄内川に挟まれた地域で、過去から水害に悩まされており、平成12年の東海豪雨でも大きな被害を受けています。

講座は、1クラスを対面式、その他のクラスはライブ配信で行いました。

東海豪雨を始め、過去に発生した水害について学習した後、浸水疑似体験映像・避難動画「あつ森で大切な命を守る」の視聴、「大雨にソナエルピクト」を活用した防災クイズで、避難や事前の備えについて学びました。

「ハザードマップは知っていますか?」との質問では、「知ってるけど、自分の家が浸水するかどうかは解らない」生徒が多く、子供たちへの啓発の必要性が感じられました。

「水害を経験したことが無いので、水害の怖さが解った」「家族で話し合いたい」「早く避難したい」などの感想があり、これからの大雨への備えに繋がったのではないかと思います。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



大野町立中小学校で防災講座を行いました

令和4年7月8日（金）、岐阜県揖斐郡大野町立中小学校で6年生11名に防災講座を行いました。創立約130年の伝統ある小学校です。

学校は、揖斐川と根尾川に挟まれた水害リスクの高い地域にあり、町内は土砂災害の危険もあります。この流域では平成14年7月の台風6号、平成20年9月の西濃豪雨など度重なる被害を受けています。講座では、この地域で過去に発生した水害について学習した後、浸水疑似体験映像で避難行動をシミュレーションしました。また、今回は国土交通省が制作した「マイタイムライン劇場・赤ずきんちゃん」を視聴し、危険を予め想定して回避することの必要性についても学びました。

「少しでも早く避難したい」「もしもの時に備え家族で話し合っておきたい」「ハザードマップで避難場所を確認して準備しておきたい」などの感想があり、講座で学んだことが、今後の行動に繋がることを期待しています。



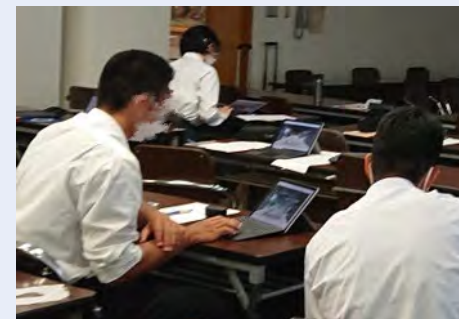
岐阜県立岐阜高校で防災講座を行いました

令和4年7月14日（木）、岐阜県立岐阜高等学校で1・2年生の防災委員18名に防災講座を行いました。来年で150周年を迎える歴史と伝統のある学校です。高校の近くには長良川が流れており、この地域は9.12豪雨（安八豪雨）で被害を受けています。

9.12豪雨を始め過去に発生した災害について、講義に加え、タブレットを用いてデジタル展示館を観ながら学習した後、浸水体感VRで浸水疑似体験をして頂きました。また、避難や事前の備えに関するクイズも行いました。

生徒さんからは、「一度家族でハザードマップを確認しておきたい」「自分の住む場所だけでなく、上流の天気を確認することの重要性がわかった」などの感想がありました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



国土交通 Day イベントを中部地方整備局と共同で行いました

令和4年7月16日（土）、岐阜県海津市の木曾三川公園センターにて、中部地方整備局と共同で国土交通 Day イベントを開催しました。生憎の天気でしたが、多くの方に足を運んでいただきました。

当協会は、浸水体感VRの体験や浸水疑似体験映像・避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映を行いました。VRを体験した方からは「実際に起きた時にどうするか考えないといけないと思った」「リアルで迫力があつた」などの感想があり、また、あつ森動画は子供たちにとっても好評でした。

中部地方整備局によるダムや災害対策車両のペーパークラフトの配布などもあり、親子で楽しんで頂けました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



大雨から大切な命を守る！ 大垣市周辺にお住まいの外国人の皆様がVRで浸水を疑似体験 ～水害から大切な命を守る防災講座～

近年では全国各地で頻発する大規模な水害により甚大な被害が発生し、逃げ遅れにより多くの方の命が失われ、また高齢者の被害が多くなっています。更に今後も、気候変動による温暖化の影響で、甚大な水害が毎年の様に発生することが予想されます。

この大垣市でも、昭和51年の9.12豪雨や平成14年7月の台風6号など、度重なる災害に見舞われています。

当協会では、大雨からの逃げ遅れゼロを目指し、「大雨から誰ひとり取り残さない、住民避難を後押しする取り組み」を進めており、その取り組みの一つとして、大垣市周辺にお住まいの外国人の皆様に、VRで浸水を疑似体験して頂き、「大雨から大切な命を守る」ための避難行動や事前の備えを学んで頂きます。

【講座の概要】

大垣市 外国人防災啓発講座

日時： 令和4年7月31日(日) 9:30～11:30

(うち当協会が担当する浸水体感VRを活用した防災講座 10:45～11:25)

対象： 大垣市周辺にお住まいの外国人(大垣国際交流協会の日本語教室受講者)の皆様 10名程度

会場： 大垣市スイトピアセンター 6階 かがやき活動室6-2

講師： (一社)中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所長 犬飼一博

【問合せ先】 (一社)中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所長 犬飼一博 TEL052-871-9380

〒467-0856 名古屋市瑞穂区新開町21-10

* 中部地域づくり協会は、国土の利用、整備、保全、災害防止などの事業を行い、国土の健全な発展に寄与することを目的とする一般社団法人です。



豊橋市外国人防災リーダー養成講座でVR体験を実施

令和4年8月6日（土）、豊橋市外国人防災リーダー養成講座で防災講座を行いました。参加者は、豊橋市にお住まいの外国人・通訳ボランティア10名の皆様です。

豊橋市には19,006人（平成4年6月現在：豊橋市HPより）の外国人がお住まいです。

講座は、豊橋市による講義・避難所図上訓練ゲーム（HUG）に続いて、当協会から、「災害から大切な命を守るために」と題して、豊橋で起きた過去の水害や事前への備えなどをお話しし、VRによる浸水疑似体験により、早期避難の重要性を学んで頂きました。参加の皆様は、日本語が理解出来る方々で、VRもスムーズに体験されていました。外では、起震車による地震体験も行われました。

愛知県で外国人への講座を実施するのは今回が初めてでしたが、今後も、大雨からの逃げ遅れゼロを目指し、「大雨から誰ひとり取り残さない、住民避難を後押しする取り組み」を進めていきたいと考えています。



岐阜県防災教育フェアで防災講座を行いました

令和4年8月20日（土）・21日（日）、岐阜県防災教育フェア（岐阜県主催）が開催され、その中で当研究所は防災講座を行いました。参加者は、小学生と保護者の皆様で約120名です。

講座では、水害と地震についてお話し、保護者の皆様には浸水体感VRの体験、子供たちには浸水疑似体験映像や避難動画「あつ森で大切な命を守るために」の視聴で、災害への備えについて学んで頂きました。また、液状化実験をはじめとするペットボトルを用いた防災科学実験を行いました。VRを体験した保護者からは、「リアルでとても怖かった」「このような体験は大事だと思った」等の感想を頂き、子供たちは、楽しみながら学んでいた様子でした。

他にも、防災ヘリの見学や地震・降雨・ポンプ車放水体験等も行われていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



親子で学ぼう 防災教育フェア 清流の国 ぎふ

聞いて、見て、体験して、家族みんなで災害に備えよう！ **参加無料**

令和4年8月20日(土)・21日(日)

【午前の部】10:00～11:40 【午後の部】13:30～15:10 ※雨天決行・雨天中止
 場所：岐阜県広域防災センター（岐阜県高穂郡高穂町小幡町2151 岐阜県消防学校敷地内）

小学生親子の参加者募集！
 募集定員：各部30名(先着順)
 お申込みはこちら！

防災講座 ～災害への備えについて学ぼう！～
 ●浸水害を動画で体験！
 ●防災グッズ
 ●防災科学実験

防災体験 ～色々な体験をしてみよう！～

参加者には防災備蓄品をプレゼント

主催：岐阜県
 協賛：国土交通省中部地方整備局多治見消防国庫事務所、一般社団法人中部地域づくり協会

浜松河川国道事務所防災体験会でVR体験を行いました

令和4年8月22日（月）、浜松河川国道事務所で職員とその家族を対象とした防災体験会が開催され、その中で当研究所・浜松支所はVR体験を行いました。

18名の方にVRで浸水を疑似体験して頂き、「すごく怖かった」「早めの避難を心がけたい」などの感想を頂きました。また、「大雨にソナエルピクト」のマグネットの配布や、避難動画「あつ森で大切な命を守るために」などの紹介も行い、「子供たちにも伝えることが大事なので、帰ったら動画を見せたい」といった声を頂きました。

防災体験会では他にも、起震車による地震の体験等が行われていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

令和4年8月24日（水）、羽島市立桑原学園で7年生15名に防災講座を行いました。桑原学園は小中一貫校です。学校は、木曾川と長良川に挟まれており、横には桑原川が流れています。学校のグラウンドには、昭和51年の9.12豪雨の浸水深を表す表示板も建てられており、水害リスクの高い地域です。

講座では、各自がタブレットにより、当協会制作のデジタル展示館で過去に発生した水害について学習し、VRで浸水を疑似体験しました。また、「大雨にソナエルピクト」などを活用した防災クイズで、避難や水害への備えについて学びました。講座の最後には、生徒さんから「非常食の準備やハザードマップの確認をしたい」「家族と話し合ったことがないので、話し合いたい」といった感想を頂きました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に掲載頂くとともに、ケーブルテレビCCNで地域に配信されました。ケーブルテレビの映像は YouTube でも公開されています。 [HTTPS://WWW.CCN-CATV.CO.JP/CH/LINEUP/AREA-TOPICS/INDEX.PHP](https://www.ccn-catv.co.jp/ch/lineup/area-topics/index.php)



岐阜県立岐阜聾学校で防災講座を行いました

令和4年8月31日（水）、岐阜県立岐阜聾学校で小学部26名、中学部12名、高等部11名に防災講座を行いました。聾学校での防災講座は初めてとなります。

小学部では浸水疑似体験映像の視聴後、〇×クイズを行い、浸水や事前の備えなどを学びました。中学部・高等部では、9.12豪雨を中心に過去に発生した災害について学習した後、浸水体感VRで浸水を疑似体験し、また、近年の豪雨災害記録集「自然に学び、自然に備える」やデジタル展示館を用いた過去の災害の調べ学習を行いました。

VRを体験した生徒さんからは、「早く逃げないといけないと思った」「まずは早めの避難を心がけて、もし逃げ遅れてしまったら上階へ逃げたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が児童・生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

この講座の様子は、NHK・中日新聞・岐阜新聞に取材して頂きました。

小学部



中学部



高等部



愛知県立豊橋工科高校で防災講座を行いました

令和4年9月2日（金）、愛知県立豊橋工科高等学校で3年生36名に防災講座を行いました。豊橋工科高校での防災講座は今回で3回目となります。

始めに、VRで浸水を疑似体験して水害の怖さを実感した後、大切な命を守るために自分自身が取べき行動を、マイ・タイムラインの作成を通して学びました。VR体験中の生徒さんからは、漂流物から避けるような動きをするなど驚いている様子が見られました。また、マイ・タイムラインの作成にあたり、ハザードマップの確認をしましたが、ハザードマップを初めて見る生徒さんも多く、真剣に自宅の浸水深を確認していました。

その後、伊勢湾台風など過去に発生した災害や近年発生した災害を、当協会制作のデジタル展示館を活用しながら学んで頂きました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

この講座の様子は、名古屋テレビに取材して頂きました。



「木曾岬町防災フェア2022」に参加しました

令和4年9月4日（日）、三重県木曾岬町役場で開催された「木曾岬町防災フェア2022」に参加しました。木曾岬町は、木曾川や伊勢湾に面した、海拔ゼロメートル地帯の町です。

当協会は、VRによる浸水疑似体験や避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映を行いました。VRを体験して頂いた方からは、「とてもリアルで怖かった」「いい経験ができた」「早めの避難を心がけたいと思った」などの感想がありました。

また、彩色でよみがえる災害の記録として、伊勢湾台風の白黒被害写真をカラー加工した写真を掲載した大型パネル展示も行いました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



岐阜本巣特別支援学校で防災講座を行いました

令和4年9月6日（火）、岐阜本巣特別支援学校で高等部19名に防災講座を行いました。特別支援学校での防災講座は今回が初めてとなります。学校は背後が山に囲まれており、土砂災害警戒区域にあります。

講座では、岐阜県で発生した過去の大きな災害として、伊勢湾台風や9.12豪雨について学習した後、VRで浸水を疑似体験しました。また、大雨にソナエルピクトや避難・備えに関する防災クイズ、避難動画「あつ森で大切な命を守るために」の視聴も行いました。

講座の最後には、生徒さんから、「胸のあたりまで水が来たら怖いと思った」「事前に備えたい」「帰ったら家族と話し合いたい」などの感想を頂きました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

この講座の様子は、岐阜放送・岐阜新聞に取材して頂きました。



神戸町立下宮小学校で防災講座を行いました

令和4年9月8日（木）、神戸町立下宮小学校で6年生29名に防災講座を行いました。

学校の近くには揖斐川が流れ、講座では、この地域で被害があった伊勢湾台風、9.12豪雨、平成14年台風6号など過去に発生した水害を学んだ後、映像で浸水を疑似体験して頂きました。また、ハザードマップは知っていても、予想される浸水深まで確認していない児童がほとんどで、自宅の浸水深を資料で確認して頂きました。最後には、交流タイムとして、講座を聞いて備えるために大切にしたいことや、これから活かしたいことなどを、ペアでお互いに話し合いました。児童からは、「VRの映像で、ドアが開かなくなったり逃げ場がなくなったので、少しでも早く安全な所へ避難したい」、「避難情報が出る前に自分で情報を早めにとって、早く避難したい」、「備えることは事前のできるの、非常食を準備したり、避難場所を家族と話したい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、児童の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、本講座は中日新聞・岐阜新聞・大垣ケーブルテレビに取材頂きました。



大垣市三城地区防災訓練に参加しました

令和4年9月11日（日）、大垣市三城地区センターで行われた令和4年度三城地区防災訓練に参加しました。46年前に長良川が決壊し、大垣市も大きな被害に見舞われた9.12豪雨の前日という過去の水害を振り返るタイミングで行われた防災訓練です。

訓練では、VRによる浸水疑似体験や、避難動画「あつ森で大切な命を守るために」の上映を行いました。VRを体験して頂いた方からは、「リアルですごかった」「本当にこの様な状況になったら怖い」などの感想があり、地域防災力向上の一助に繋がりました。また、「あつ森」動画はお子さんたちが、真剣に観てくれていました。

今後も、コロナ感染症に留意しながら、大雨から大切な命を守るため、住民避難を後押しする取り組みにより自治体を支援して参ります。



47災害から50年 「おばら防災DAY」に参加しました

令和4年9月18日（日）、豊田市小原交流館で開催された「おばら防災DAY」に参加しました。今年は、この小原地区で死者・行方不明者32名という甚大な被害をもたらした「昭和47年7月豪雨災害（通称47災害）」から50年の節目にあたります。

当協会は、VRによる浸水疑似体験や避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映、ソナエルピクトのマグネットの配布などを行いました。VRを体験して頂いた方からは、「浸水の怖さがわかった」「このような体験は必要だと思う」などの感想があり、また、子供たちはあつ森の避難動画を真剣に観てくれていました。

他にも、当時の災害の記録を伝えるパネル展示や、講演会・当時の被災者によるパネルディスカッションなどが行われ、記憶を繋ぐイベントとなっていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



大垣市 令和4年度地区別防災訓練に参加しました

令和4年9月25日（日）、大垣市民会館で行われた「大垣市 令和4年度地区別防災訓練」に参加しました。訓練の翌日は、災害史上未曾有の大災害である伊勢湾台風から63年にあたり、この西濃地域にも甚大な被害をもたらしました。

訓練では、「逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押し」と題し、早期避難に向けての課題の確認や浸水疑似体験映像の視聴を行い、その後、実際にVRで浸水を疑似体験して頂きました。

また、ソナエルピクトのマグネット配布は好評で、多くの方にお持ち帰り頂き、「勉強になった」「冷蔵庫に貼ります」などの声があり、地域防災力向上の一助に繋がりました。

今後も、コロナ感染症に留意しながら、大雨から大切な命を守るため、住民避難を後押しする取り組みにより自治体を支援して参ります。



岐阜市立梅林中学校で防災講座を行いました

令和4年10月1日（土）、岐阜市立梅林中学校で白山小学校区に住む1～3年生64名に防災講座を行いました。梅林中学校は木曾川と長良川に挟まれた場所に位置します。

始めに、この学校も浸水被害を受け、校内に浸水深を示す標示板のある昭和51年の9.12豪雨や、伊勢湾台風について学んで頂き、その後、VRで浸水を疑似体験して水害の怖さを実感したあと、大切な命を守るための行動計画「マイ・タイムライン」の作成を行いました。VR体験では、画面上に出てくるものに触るような動きをしたり、驚いた声を出すなど、疑似体験とは思えない反応をしていました。マイ・タイムラインの作成では、ハザードマップで初めて自宅の浸水深を確認する生徒さんが多く、周りと相談しながら自分がとるべき行動について一生懸命考えていました。

講座を通して、「VRが360度見られてリアルだった」「今まで水害を意識していなかったが、恐ろしいとわかったので、命を守る行動をしたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

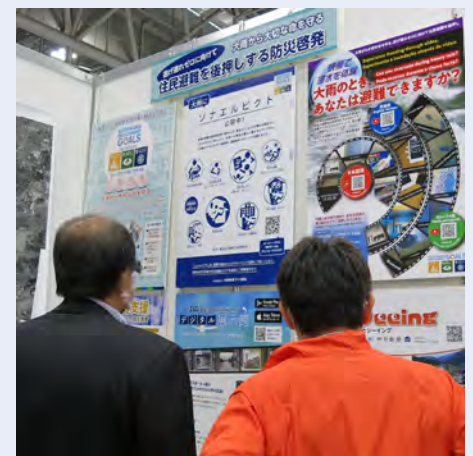


「建設技術フェア2022 in 中部」に出展しました

令和4年10月4日（火）・5日（水）、ポートメッセなごや 第3展示館で開催された「建設技術フェア2022 in 中部」に出展し、多くの方にお立寄り頂きました。

当研究所は、「大雨から大切な命を守る～誰一人取り残さない防災啓発～」と題し、研究所の取り組みや伊勢湾台風に関するパネル展示、浸水体感VRの体験、ソナエルピクトのマグネットの配布などを行いました。

パネル展示では、伊勢湾台風を経験された方が、「忘れることはない」と当時の様子をお話しされながら、熱心にパネルをご覧になられていました。また、VR体験では、VRを初めて体験したという方も多く、「リアルで怖かった」「迫力があってすごかった」などの声がありました。



「第46回春日井まつり」に中部大学と共同出展しました

令和4年10月15日（土）・16日（日）、春日井市役所庁舎及びその周辺で開催された「第46回春日井まつり」に、「命を守る水害意識向上プロジェクト」として、中部大学都市建設工学科の武田研究室と共同出展させて頂きました。

3年ぶりの開催もあり、大変な賑わいで、当協会は、VRによる浸水疑似体験や避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映、ソナエルマグネットの配布を行いました。来場者からは、「映像がリアルで怖かった」「庄内川の堤防がすぐ近くなので、早く避難するようにしたい」などの感想があり、早期避難に向けた意識の向上が確認できました。

武田研究室では、学生が、大雨で街が浸水する模型を使用して、都市型水害やその対策などを小さなお子さんにも解りやすい言葉で説明していました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



岐阜県立岐阜盲学校に防災啓発冊子・点字版を寄贈しました

令和4年10月18日（火）岐阜県立岐阜盲学校で防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・2021 自然に学び、自然に備える」点字版の受領式が行われました。

この度、当研究所が進めている『大雨から誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて避難を後押しする多様な取り組み』の一つとして、視覚に障がいのある方に伝わるよう、防災啓発冊子の点字版を作成し、岐阜盲学校に3冊寄贈しました。是非ご活用頂き、防災学習のお役に立てれば幸いです。

今後も、障がいのある方や外国人にも伝わるダイバーシティを意識した防災啓発に取り組んで参ります。

防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・2021 自然に学び、自然に備える」は、過去の災害を知って頂くことを目的に、中部地方で近年発生した風水害を中心にまとめた冊子です。



堀 岐阜県教育長（左）と廣瀬 当協会理事長（右）



岐阜県立可児工業高校で防災講座を行いました

令和4年10月19日（水）、岐阜県立可児工業高校で後期生徒会役員6名に防災講座を行いました。学校の近くには、木曾川や可児川が流れています。

この地域では、平成22年7月15日の集中豪雨で可児川が氾濫し大きな被害が発生、また、令和2年7月豪雨や令和3年8月の大雨では、木曾川の今渡観測所で出勤水位を超える水位を観測しました。

講座では、VRで浸水を疑似体験して水害の怖さを実感した後、ドアが開かなくなったり歩行困難な浸水深についてクイズを交えながら学んだり、伊勢湾台風などの過去の災害から近年発生した災害について学習しました。また、ハザードマップで浸水想定区域を確認するなど、生徒の皆さんは真剣に取り組んでいました。

講座を通して、「正しい知識と早めの判断を大切にしたい」「災害時、すぐに動かないと危ないということを知れたので、もっと防災について学びたい」「家族で避難所の確認をしておきたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



「ふじおか防災キャンプ～47災害を忘れない～」に参加しました

令和4年10月29日（土）、豊田市藤岡体育センターで開催された「ふじおか防災キャンプ」に参加しました。旧藤岡村では、50年前の昭和47年7月の土砂災害により、死者・行方不明者22名の被害が発生しました。

当協会は、VRによる浸水疑似体験や避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映、ソナエルピクトのマグネット配布などを行いました。「リアルな映像で、より勉強になりました」、「色々工夫して防災啓発していますね」などのお声をかけて頂きました。

また、屋外では大雨体験などの体験コーナー、屋内では47災害のパネル展示、防災キャンプではリアルHUG体験や被災者による講話などもあり、47災害の記憶の継承や防災・減災に繋がる様々な企画が催されました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



豊橋工科高校の文化祭でVR体験会を行いました

令和4年10月29日（土）、愛知県立豊橋工科高校の文化祭でVR体験会を行いました。豊橋工科高校では、毎年、防災講座を行っています。

浸水体感VRは、生徒・先生・保護者の方60名に体験して頂きました。浸水を疑似体験した保護者の方からは、「迫力があって怖かった」「備えをしておかないといけないと思った」などの感想があり、水害の怖さが多くの方に伝わったように感じました。

今回のVR体験会が、防災意識向上に繋がり、家族で早期避難や事前の備えについて話し合うきっかけになって頂ければ幸いです。



岐阜市市橋地区で「浸水体感VRを活用した防災講座」を行いました

令和4年10月30日（日）、岐阜県防災交流センターで岐阜市市橋地区の住民を対象に「浸水体感VRを活用した防災講座」を行いました。センターの近くには、長良川や荒田川が流れています。

講座では、「災害から大切な命を守るために～過去の災害に学び、備えよう～」と題し、地区内に浸水深を示す標示板のある昭和51年の「9.12豪雨」など過去に発生した災害や、早期避難に向けた課題の説明を行い、その後、浸水体感VRで浸水を疑似体験して頂きました。また、ソナエルピクトのマグネット配布を行い、事前の備えについても確認して頂きました。

今回の取組みは岐阜県が主催し、当研究所による講座のほか、岐阜市の防災対策の説明や弾道ミサイルを想定した住民避難訓練も行われました。

今後も、地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組みを進めてまいります。



郡上市立八幡小学校で防災講座を行いました

令和4年11月2日（水）、郡上市立八幡小学校5年生42名に防災講座を行いました。授業で川について学んでいるところで、良いタイミングでの講座となりました。学校の目の前には吉田川が流れています。郡上市は、伊勢湾台風や平成16年台風23号で被害が発生しており、昭和35年8月洪水では、学校の講堂が浸水被害を受けています。

講座では、過去の水害について学んだ後、浸水疑似体験映像や避難動画「あつ森で大切な命を守るために」の視聴を行いました。浸水疑似体験映像の視聴後には、「自宅が浸水し始めた時、どのような避難行動をとるか」という質問をしましたが、上階や近くの高層マンションに逃げる垂直避難と回答した児童が多く、高い場所に逃げる意識が高いことがわかりました。

講座の後半には、防災を学ぶきっかけづくりとして、ペットボトルを用いた防災科学実験を行い、高潮や雲が発生する仕組みなどについて学びました。児童のみなさんは楽しみながら実験に取り組んでいました。

今回の防災講座が、児童の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

この講座の様子は、INGケーブルテレビで地域に発信されました。



「第30回全国川サミット in 岡崎」に参加しました

「河川空間とまち空間の融合ー川の歴史の継承と新たな交流を目指してー」をテーマに、流域に住む人々に恵みをもたらし続ける川の大切さを再認識するとともに、乙川のかわまちづくり事業を通して次世代に向けてより良い川との共生を図っていくため、令和4年11月4日（金）・5日（土）に「第30回全国川サミット in 岡崎」が開催されました。

今回のイベントでは、川について学べるパネル展示やパネルディスカッションなどが行われており、その中で、当協会は、浸水体感VRによる浸水の疑似体験や浸水疑似体験映像の上映、ソナエルピクトのマグネット配布などを行いました。

VR体験者からは、「最近、特別警報も頻繁に出るので慣れてしまっていますが、VRの映像を見ると良くわかり、気を付けようと思いました」などの声をかけて頂いたり、驚いたり怖がるようなリアクションをされている様子が見られました。また、東海豪雨の経験者は、「VRを見て思い出した」と当時の様子をお話しされていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



「おおがき防災フェス2022」に参加しました

令和4年11月6日（日）、大垣市立北小学校で開催された「おおがき防災フェス2022」に参加しました。

子供から高齢者まで幅広い世代が楽しみながら参加できる体験ブース型のイベントです。

当協会は、浸水体感VRによる浸水の疑似体験や避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映、ソナエルピクトのマグネット配布などを行いました。

お子さんが多く、あつ森の動画は大人気で、楽しみながら避難について学んで頂いた様子でした。また、ソナエルピクトのマグネットも好評で、「こういったものがあると、家族と話し合うきっかけになっていいですね」「冷蔵庫に貼っておきます」など嬉しいお言葉も頂きました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



「令和4年火災予防運動キャンペーン」に参加しました

11月9日から1週間実施される令和4年秋季火災予防運動に先駆け、令和4年11月5日（土）、イオンモール大垣で開催された「令和4年火災予防運動キャンペーン」に参加しました。

当協会は、浸水体感VRによる浸水の疑似体験や浸水疑似体験映像・避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映、ソナエルピクトのマグネット配布などを行いました。VR体験者からは、「大雨の時には早めの避難をしたいと思います」といった感想を頂きました。

ほかにも、屋内では消防職員との撮影会やぬり絵コーナー、屋外では屈折式はしご車の展示やちびっ子防火衣試着体験と撮影会などが行われており、家族連れで賑わっていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



岐阜県立岐阜総合学園高校で防災講座を行いました

令和4年11月9日（水）、岐阜県立岐阜総合高等学校で2年生33名に水害の防災講座を、15名に地震の防災講座を行いました。岐阜総合学園高校での防災講座は、昨年に続いて2回目となります。

水害の講座では、始めに、この地域も浸水被害にあった9.12豪雨など過去に発生した水害について学びました。その後、VRで浸水を疑似体験して避難行動をシミュレーションし、また、大切な命を守るために自分自身が行うべき行動を、マイ・タイムラインの作成を通して学びました。

地震の講座では、中部地方に甚大な被害をもたらした濃尾地震などについて学んだ後、岐阜市が地震に強い地盤なのかを考えて頂きました。その後、装置やペットボトルを用いて、液状化現象を学ぶ実験を行いました。

講座を通して、生徒からは、「VRなど貴重な体験が出来てとても勉強になったので、家族や友人などに伝えていきたい」「命を守るために考えて行動したり対策を考えたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



岐阜県立可児工業高校の文化祭でVR体験会を行いました

令和4年11月10日（木）、今年が創立60周年の岐阜県立可児工業高校の文化祭でVR体験会を行いました。可児工業高校では、今年、防災講座も行っていきます。

この地域を流れる可児川では、平成22年7月15日の集中豪雨で氾濫し浸水被害が発生しました。

VRで浸水を疑似体験した生徒さんからは、5つの避難行動の選択肢から何を選択し、何が正解だったのかなどを、友人たちと話し合う様子が見られました。また、「迫力があって怖かった」「早めに避難したいと思います」などの感想がありました。

今回のVR体験会が、近くに木曾川や可児川が流れる地域の学校に通う生徒の防災意識向上のきっかけになって頂ければ幸いです。



「瑞穂区民まつり2022」に瑞穂警察署と共同出展しました

令和4年11月20日（日）、パロマ瑞穂レクリエーション広場で開催された「瑞穂区民まつり2022」に、愛知県瑞穂警察署と共同出展させて頂きました。

当協会は、VRによる浸水疑似体験や避難動画「あつ森で大切な命を守る」の上映、ソナエルピクトのマグネット配布を行いました。VRは中学生の方に多く体験して頂き、「リアルな映像すごい」「怖かった」という声が多かったです。また、VRが体験できない小学生からは「VRが見たい」と残念がるお子さんも多かったです。

今回、3年ぶりの開催で大変多くの方が来場され、VRの体験にも並んでお待ちいただくほどで、瑞穂警察署のパトカーには行列が耐えませんでした。

今後も地域の多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



土岐市立土岐津小学校で先生を対象に浸水VR体験会を行いました

令和4年11月25日（金）、土岐市立土岐津小学校で、先生を対象とした浸水VR体験会を行いました。

この小学校は、土岐川が近くを流れ、洪水ハザードマップによれば、3階ぐらいまで浸水が想定されている地域です。

今回、子どもたちを守る立場の先生方に体験して頂き、先生からは「VRは初めてで、リアルな映像に驚きました」、「早く避難しなければいけないことが良くわかりました」などの感想がありました。

この体験が、早期避難の一助になれば幸いです。

今後も、大雨からの逃げ遅れゼロに向けた取り組みを進めて参ります。



愛知県立岡崎盲学校・愛知県立名古屋盲学校に 防災啓発冊子 点字版を寄贈しました

令和4年11月29日（火）愛知県立岡崎盲学校、30日（水）愛知県立名古屋盲学校に防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・2021 自然に学び、自然に備える」※ 点字版を各3冊寄贈しました。

この度、当研究所が進めている『大雨から誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて避難を後押しする多様な取り組み』の一つとして、過去の水害の記録や教訓が視覚に障がいのある方にも伝わるよう、防災啓発冊子の点字版を作成し、中部地域の盲学校や点字図書館等へ寄贈するものです。是非ご活用頂き、防災学習のお役に立てれば幸いです。

今後も、障がいのある方や外国人にも伝わるダイバーシティを意識した防災啓発に取り組んで参ります。

※防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・2021 自然に学び、自然に備える」は、過去の災害を知って頂くことを目的に、中部地方で近年発生した風水害を中心にまとめた冊子です。

愛知県立岡崎盲学校



犬飼 当協会地域づくり技術研究所長（左）と成瀬 校長（右）

愛知県立名古屋盲学校



前田 校長（左）と犬飼 当協会地域づくり技術研究所長（右）

岐阜県立高山工業高校で防災講座を行いました

令和4年12月15日（木）、雪が舞う中、岐阜県立高山工業高等学校で1年生約100名に防災講座を行いました。学校の近くには苔（すのり）川が流れています。また、今回は飛騨地方で初めての防災講座となりました。

この地域では、平成30年7月豪雨で苔川が氾濫し、高山工業高校も避難所になったそうです。

講座では、まず始めに、この地域も大きな浸水被害を受けた平成30年7月豪雨など過去に発生した水害について学びました。その後、代表12名はVRで、その他の生徒は映像で浸水を疑似体験して避難行動をシミュレーションし、大切な命を守るために自分自身が取る行動を学びました。

講座を通して、生徒からは、「平成30年7月豪雨の警報は覚えている。早く避難して家族の命を守りたい。」「VRを体験して早く避難したいと思った。」「過去に起きた災害が良くわかった。」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



本巣市立根尾学園で防災講座を行いました

令和4年12月22日（木）、今週降った雪が残る、本巣市立根尾学園で7～9年生12名に防災講座を行いました。全校生徒42名の小さな学校で、学校の近くには根尾西谷川が流れています。この地域では、平成30年7月豪雨の際、数日間の停電を経験したそうです。

講座では、9.12豪雨や平成30年7月豪雨など、岐阜県で発生した水害を中心に学習した後、VRで浸水を疑似体験し、また、デジタル展示館や近年の豪雨災害記録集「自然に学び、自然に備える」を活用して、過去の災害について調べ学習をして頂きました。「家族と避難について話し合ったことがありますか？」という質問には、12名全員が「ある」と回答しており、防災への意識の高さがうかがえました。

講座を通して、生徒からは、「改めて水害は怖いと思ったので、まず避難することを心がけたい。また、みんなにも避難を呼びかけていち早く行動したい。」「すぐに判断して行動するのは難しいので、もしもを考えて対策できることはしておきたい。」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は、CCNet（ケーブルテレビ）で地域に発信されました。



根尾谷断層



根尾学園

愛知県立豊田西高校・東高校の生徒に防災講座を行いました

令和5年1月28日（土）、愛知県立豊田西高校で、同校の生徒6名・先生1名、豊田東高校の生徒2名・先生1名の計10名に防災講座を行いました。豊田市での防災講座の実施は、今回が初めてとなります。受講したのは、高校生防災セミナーや学校の防災班などで活動している生徒・先生方です。

講座では、豊田市で被害が大きかった伊勢湾台風や昭和47年7月豪雨災害、東海豪雨などを中心に、デジタル展示館も活用しながら学習しました。その後、VRで浸水を疑似体験し、早期避難の重要性や浸水の恐ろしさなどを実感して頂きました。

講座を通して、生徒からは、「VRで視覚的にとてもリアルな恐怖を感じた」「今までの自分の考えの甘さやすぐに行動することの大切さを知った」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に掲載されました。



野見山展望台から矢作川上流を望む（豊田スタジアム方面）

名古屋市南生涯学習センターで防災講座を行いました

令和5年1月31日（火）、名古屋市南生涯学習センターで、令和4年度後期講座「【南区役所共催】いざという時、わたしたちにできること～家で、避難所で、まちで～（全5回開催）」における2回目の講座として「災害時あなたは どうしますか？～実験・VR体験で学ぶ防災～」と題し、受講者10名に水害と地震の防災講座を行いました。

水害の講座では、名古屋市南区でも被害が大きかった伊勢湾台風や東海豪雨など、過去に発生した水害について学んだ後、VRで浸水を疑似体験し、地域のリスクと備え、避難行動などについて考えて頂きました。

また、地震の講座では、濃尾地震など過去に発生した地震や地域のリスクなどについて学んだ後、実験装置による液状化やペットボトルを用いた実験を体験して頂きました。「楽しく学ぶことができた」と言った声も頂き、液状化のメカニズムについて理解を深めて頂いた様子でした。

講座を通して受講者の方からは、「自分が住んでいる場所をよく知って、自分ができる避難や防災を具体的にシミュレーションして考えていきたいと思いました」「備えあれば憂いなしで日常の備えが大切と思った」などの感想がありました。

今後も、地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



愛知県立津島北高校で防災講座を行いました

令和5年2月2日（木）、愛知県立津島北高等学校で2年生20名に防災講座を行いました。

この地域は、伊勢湾台風や昭和36年6月豪雨など甚大な浸水被害が発生しています。また、昭和51年9.12豪雨では長良川の堤防の決壊が広く知られていますが、この地域においても同様に日光川の支川である目比川（むくいがわ）の堤防が決壊しています。

講座では、まず始めに、伊勢湾台風など過去に発生した水害について学んだ後、VRで浸水の疑似体験や、デジタル展示館・防災啓発冊子を活用して、過去の災害について調べ学習を行い、大切な命を守るために自分自身が行う行動を学びました。

「VRを体験して、浸水する前に早く避難したいと思いますか？」との質問に対しては、全員が「早く避難したい」と回答し、VR体験の効果が見られました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



愛知県立名古屋聾学校で防災講座を行いました

令和5年2月10日（金）、愛知県立名古屋聾学校で高等部7名に防災講座を行いました。愛知県内の特別支援学校での実施は今回が初めてです。講座の内容は、先生の手話や音声を文字に変換しモニターに表示して伝えて頂きました。

まず、伊勢湾台風や東海豪雨を中心に、過去に発生した水害についてデジタル展示館も活用しながら学んだ後、VRで浸水を疑似体験しました。体験後の「浸水する前に早く避難する人は手を挙げてください」との質問には全員が手を挙げ、「VRをやってみて本当に怖かった」、「今後、災害が起きたときはできるだけ早く避難しようと思った」などの感想もあり、VRの効果が感じられました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

この講座の様子は、スターキャット（ケーブルテレビ）・中日新聞に取材して頂きました。



「山間部でDX推進！～低軌道周回衛星を活用したインターネット通信 公共事業 初導入!!～」に協力しました

令和5年3月13日（月）、道の駅星のふる里ふじはしにおいて、「山間部でDX推進！～低軌道周回衛星を活用したインターネット通信 公共事業 初導入!!～」が、国土交通省 越美山系砂防事務所主催で開催されました。

山間部の電波が届かない地帯（電波不感地帯）では、インターネット等の通信ができないことから、国土交通省で初めて、低軌道周回衛星によるインターネットサービス（スターリンク）を利用した実証実験が行われ、離れた2カ所の堰堤工事現場から、遠隔臨場やドローン映像を、鮮明にかつ途切れることのない安定した通信で、見ることができました。

当研究所はこの取組に協力し、浸水VR体験、デジタル展示館の紹介を行いました。今後もDX推進に向け、取り組んでまいります。



「海拔ゼロメートル地帯 高齢者介護施設 BCP研修会」に参加しました

令和5年3月14日（火）、東別院会館3階 東別院ホールにて、愛知医科大学災害医療研究センター主催の「海拔ゼロメートル地帯 高齢者介護施設BCP研修会」に参加しました。医療関係や高齢者介護施設と連携した取り組みは、今回が初めてです。

研修会では、愛知医科大学災害医療研究センターの教授や講師、令和元年台風19号（長野県）で実際に施設対応をされた方などの講演が行われました。

当研究所は、伊勢湾台風に関するポスターやパネルの展示、VRによる浸水疑似体験を行いました。

大雨から施設利用者や職員の大切な命を守るためには、被災前からの事前避難を含めたBCP（業務継続計画）の作成が重要です。今回のVR体験などが、BCP作成の一助になれば幸いです。

今後も、大雨から大切な命を守るため、多様な機関と連携した取り組みを進めてまいります。



9.28豪雨災害から40年

中津川市立阿木中学校で防災講座を行いました

令和5年3月22日（水）、中津川市立阿木中学校で2年生13名に防災講座を行いました。40年前の昭和58年に木曾川中流域を中心に甚大な被害が発生した9.28豪雨災害では、この阿木地区でも河川が氾濫し、大きな被害を受けています。現地には、この豪雨を伝承する碑も残されています。

講座では、9.28豪雨災害を始め過去に発生した水害についてデジタル展示館などを活用しながら学習した後、VRにより浸水を疑似体験し、水害の怖さや早期避難の重要性について学びました。

当時の白黒写真をカラー加工した災害写真や水害の動画などを見た生徒たちからは「凄い」「怖い」といった驚いたような声があがっていました。また、VR体験後には、生徒同士でどんな選択をしたのか、選択によってどんなことが起きたのかなど、浸水時の行動について話し合っている姿が見受けられました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



昭和58年9.28豪雨
災害伝承碑